

Orario シリーズ EPM システム



PREGARE Orario PREGARE

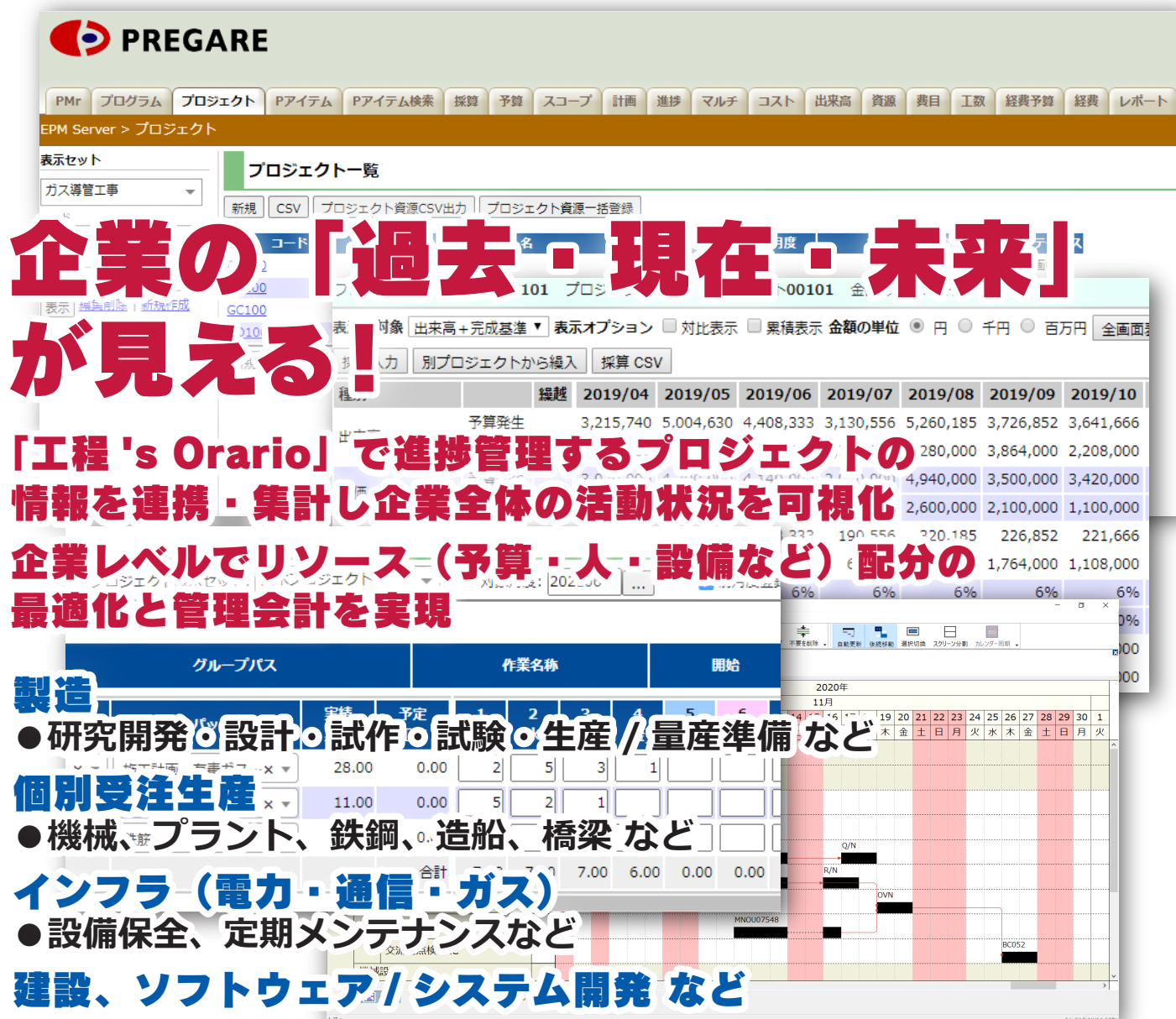
企業におけるあらゆるプロジェクト情報と計画を一元管理
プロジェクト推進状況の可視化を実現する統合計画パッケージ

マルチプロジェクト機能で
企業レベルの統合的
プロジェクト管理を実現

予算・原価・コスト・出来高・
採算等、豊富な管理会計
機能を標準装備

計画履歴管理、各種指標算出、
レポート出力等、豊富な機能で
管理者/経営者を強力支援

あらゆる業種に適用可能
業種別に最適な運用
をご提案します！



企業の「過去・現在・未来」が見える！

「工程's Orario」で進捗管理するプロジェクトの情報を連携・集計し企業全体の活動状況を可視化
企業レベルでリソース（予算・人・設備など）配分の最適化と管理会計を実現

製造
●研究開発 ●設計 ●試作 ●試験 ●生産 / 量産準備 など

個別受注生産
●機械、プラント、鉄鋼、造船、橋梁 など

インフラ（電力・通信・ガス）
●設備保全、定期メンテナンスなど

建設、ソフトウェア / システム開発 など

グループ	作業名称	開始	2019/04	2019/05	2019/06	2019/07	2019/08	2019/09	2019/10
製造	予算発生		3,215,740	5,004,630	4,408,333	3,130,556	5,260,185	3,726,852	3,641,666
	出来高		280,000	3,864,000	2,208,000	4,940,000	3,500,000	3,420,000	2,600,000
	コスト		2,600,000	2,100,000	1,100,000	1,900,556	320,185	226,852	221,666
個別受注生産	出来高		1,764,000	1,108,000	6%	6%	6%	6%	6%
	コスト		1,764,000	1,108,000	6%	6%	6%	6%	6%
	設備		1,764,000	1,108,000	6%	6%	6%	6%	6%
インフラ	出来高		1,764,000	1,108,000	6%	6%	6%	6%	6%
	コスト		1,764,000	1,108,000	6%	6%	6%	6%	6%
	設備		1,764,000	1,108,000	6%	6%	6%	6%	6%
建設	出来高		1,764,000	1,108,000	6%	6%	6%	6%	6%
	コスト		1,764,000	1,108,000	6%	6%	6%	6%	6%
	設備		1,764,000	1,108,000	6%	6%	6%	6%	6%

PREGARE Orario は、企業レベルの統合的なプロジェクト管理を行うためのエンタープライズプロジェクトマネジメントシステムです。 研究開発・設計部門から、製造・生産部門、保守部門にわたる広範な組織における様々な計画の日程、コストなどの管理にご利用頂けます。

プロジェクトを統合管理

関連性のある複数のプロジェクトを「プログラム」という概念で包括的に管理できます

数週間で終了する小規模案件から数年にわたる大型案件まで、あらゆるプロジェクトを取り扱うことができます。

複数のプロジェクトをまとめる「プログラム」管理により、アカウント別等、目的に応じた様々な分類ごとにプロジェクト状況を可視化し、マネジメントに役立てることができます。

表示セット		プログラム一覧			
すべてのプログラム		新規 CSV			
コード		コード▲	プログラム名称	開始日	終了日
名称		MaintenanceTable_2011-2040_Plant-A	設備保全 Aプラント定期表2011-2040	2011/01/01	2040/12/31
表示	編集/削除 新規作成	Maintenance_2020_Plant-A	設備保全2020 Aプラント	2020/01/01	2020/12/31
		Maintenance_2021_Plant-A	設備保全2021 Aプラント	2021/01/01	2021/12/31

マルチプロジェクト機能

複数プロジェクト間での人や設備の調整を容易にし、計画調整の負担を大幅に軽減できます

複数のプロジェクトの計画を結合し、工程's Orario で日程や資源を調整することができます。

調整後は、結合された調整済み計画を再び PREGARE Orario に格納し、さらに調整結果を結合元の各プロジェクトに反映することができます。



工程計画の管理・共有

工程's Orario で作成・編集した詳細計画を、PREGARE Orario 上で管理できます

バージョン管理機能により、過去のプロジェクト計画の参照、最新計画との比較が可能です。表示専用ソフト（工程's Orario ビューア）を使えば、計画更新担当者以外のプロジェクト関係者にも、工程計画情報を共有することができます。

工数管理

プロジェクト単位、部署（要員）単位の工数の予実管理がネットワーク経由で簡単にできます

画面カスタマイズ

画面に表示する内容や名称を自由にカスタマイズすることができます

これにより、導入当初は必要最小限の機能でスタートし、システムの利用が定着したところでより高度な管理機能を追加するといった段階的な運用が可能になります。

レポート出力

報告書作成の手間を削減し、目的に応じたレポートを素早く仕上げることができます

プロジェクト、予算、工数の一覧表、集計表、マトリクスレポートや工程's Orario の作業バーを一覧表示する計画レポートなど、出力対象と各種条件を設定することにより様々なタイプのレポートを作成できます。

権限設定

ユーザーの種別に応じてアクセス可能な情報を制限することができます

表示するタブ（メニュー）、データを参照 / 編集する権限を定義したロール（役割）を割り当てることができます。また、不要な情報を表示しないことで、よりスムーズな運用が可能になります。

URL リンク

報告書や資料中に PREGARE Orario で管理しているプロジェクト情報の URL を埋め込んでおけば、ワンクリックで目的のプロジェクト情報を表示させることが可能です。

状態監視

対象プロジェクトの計画更新、予算・コストの再集計、成果物定義の変更といった重要なイベントを見落とすリスクを回避し、マネジメントの負担を最小限に抑えることができます。

企業運営においては、常に社内プロジェクトの採算を把握し、その情報に基づき生産性向上策を検討・実施することにより、企業競争力を強化していく必要があります。また、社内の貴重な経営資源をフル活用して効率良く業務を遂行するためには、プロジェクト情報の「見える化」が必須となります。それを実現するための製品が PREGARE Orario です。

PREGARE Orario の導入によって、プロジェクトの進捗・コスト発生状況が定量化され、的確な状況判断やタイムリーな意思決定が行えらるとともに、起こりうるリスクの把握と、事前の対応策の検討などが可能になります。その結果、戦略目標と業務活動のギャップが解消され、企業全体の収益拡大ならびに競争力強化につながります。

プロジェクト管理会計

予算管理、コスト管理、出来高管理（EVM）、採算管理が可能です

締め処理後の不正なデータ改変を防ぐロック機能により情報の信頼性を確保します。

採算管理

プロジェクト単位に売上計上基準を工事完成基準・工事進行基準で設定すること

ができます。

また予算、出来高から得た情報を元に SV（スケジュール差異）、SPI（スケジュール効率指数）、CV（コスト差異）、CPI（コスト効率指数）などのプロジェクト評価指数を算出し、プロジェクト完成時の総コストを予測できます。

これにより、問題のあるプロジェクトを早期に見極め、リスク回避の対策をとることができるようになります。

コスト管理

プロジェクト単位に使用した資源の工数と各資源の単価を基に月次の実績コスト

を算出します。

財務会計システムからプロジェクトで生じた経費を CSV 形式で取り込むことも可能です。

出来高管理

プロジェクトの成果物を基にした出来高管理（EVM）ができます。

工程's Orario あるいは PREGARE Orario の画面上で成果物構成を月別に階層型で定義し、出来高のロールアップ／ロールダウン、履歴管理が可能です。

成果物進捗率に応じた、プロジェクト全体と各成果物階層単位の出来高も算出できます。

予算管理

プロジェクト単位に初期予算（計画予算）と修正予算（実行予算）を分けて管理

できます。

工程's Orario でプロジェクトの詳細計画を作成することにより、使用する資源に基づき、計画予算の一部（人件費分、機械・設備費用など）が自動計算されます。



データ連携

CSV 出力

CSV ボタンが用意されている画面からは、該当の情報を CSV 形式でダウンロードし他社システム等で利用することが可能です。

API 機能

API により、他のシステムで作成された情報を取り込むことができます。

これにより、データの二重入力が不要になり、既存のシステムとのスムーズな連携が可能になります。

連携対象：プログラム、プロジェクト、予算、採算、経費、工数

PREGARE Orario をより効果的にご利用いただくために

導入前コンサルティング

導入・運用で効果が期待できるか、どのような構成、運用が妥当かなど導入前にコンサルティングを実施します。

受託カスタマイズ

既存システムとの連携やユーザー固有のニーズに基づき PREGARE Orario をカスタマイズします。

プロジェクトマネジメント教育

意識の改革、基盤の統一を狙いとして PREGARE Orario 利用を踏まえたプロジェクトマネジメント教育をユーザーサイトで実施します。

トレーニング

PREGARE Orario の操作手順についてオンサイトでトレーニングを実施します。

サポート

電話・メールによる質問にサポートスタッフが対応します。

運用コンサルティング

ユーザー個別にマスタの整備や運用手順の確立、マニュアル作成を支援します。

主要機能

プロジェクト管理機能

工程計画管理、プログラム管理、スコープ管理、要員管理、資源管理、マルチプロジェクト管理、プロジェクト状態監視、プロジェクトレポートの自動メール送信、工数管理

管理会計機能

予算管理、コスト管理、経費管理、出来高管理、採算管理（進行基準管理）、費目管理、作業指示書・レポート出力、ユーザー管理・権限管理

動作環境

サーバーオペレーティングシステム

Red Hat Enterprise Linux、Windows Server

サーバー

上記 OS が動作するサーバー
メモリ Red Hat 版：8GB 以上、Windows Server 版 16GB 以上

Web ブラウザ

Microsoft Edge、Google Chrome

サーバーソフトウェア

Java Runtime Environment
PostgreSQL Server
Apache HTTP Server

※Red Hat 版は、OS に付属する上記パッケージを使用します。

工程's (R) Orario および PREGARE (R) Orario は株式会社ウェブアイの登録商標です。Planow (R) Orario は株式会社エス・ディー・シックスの登録商標です。その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商号、商標または登録商標です。本カタログに記載されている内容は予告なく変更される場合があります。



株式会社ウェブアイ

〒135-8071 東京都江東区有明 3-6-11 TFT ビル東館 9 階
TEL:03-3570-2391 FAX:03-3570-2393
<https://www.webi.co.jp/>

製品紹介ページ

詳細はこちらをご覧ください

[/ @webiktz](#)



お問い合わせ・デモのご要望も承っております。
運用方法や業界ごとの活用事例など、経験豊富な弊社スタッフにぜひお気軽にご相談ください。

PREGARE

検索

